

子ども家庭局

一般会計要求総額 71,307百万円 (対前年度 +3.8%)
 特別会計要求総額 (※) 160百万円 (対前年度 ▲9.2%)
 (※) 母子父子寡婦福祉資金特別会計

【令和6年度 予算要求の方針】

- I 子ども家庭局では、働く保護者を支援するため、保育所などの送迎や、急な残業や子どもの病気などの際に安心して働ける環境の整備、放課後児童クラブの預かり時間延長などを通して、「**稼げるまち**」の実現を目指します。
- II また、良質な生活環境や質の高い学習環境を求める子育て世帯を呼び込むため、データ等に基づいたポジティブな子育て情報の発信や SNS を活用したイメージ戦略を行い、質のよい子育て環境のまちとして都市イメージ向上を推進するとともに、母子保健や保育などにかかる手続きの ICT 化を進め、DX 技術を取り入れた支援を強化し、「**彩りあるまち**」の実現を目指します。
- III さらには、子どもを安心して生み育てることができる環境を整備するため、妊娠期から出産、子育て期における伴走型の支援や、障害のあるこどもの保育所での受入体制強化、こどもが安全安心に過ごせる場所や社会性をはぐくむ多様な居場所の拡大などに取り組み、「**安らぐまち**」の実現を目指します。

【令和6年度 予算要求の基本的な考え方】

I 「稼げるまち」の実現

働く親へのサポート強化

- ・**新規** 送迎保育ステーション事業
- ・**拡充** 第2子以降の保育料完全無償化事業
- ・**新規** 放課後児童クラブ運営費（早朝加算）
- ・**新規** 子育てファミリーサポート事業



II 「彩りあるまち」の実現

こどもまんなか city の推進

- ・**新規** こどもまんなか city 推進事業

DX推進による子育てサポート

- ・**拡充** 妊産婦健診等 DX 推進事業



III 「安らぐまち」の実現

母子健康・親子支援の強化

- ・**拡充** 妊娠・出産・養育にかかる相談・支援事業
- ・**新規** こども誰でも通園制度(仮称)モデル事業及びシステム導入

配慮を要するこどもの支援

- ・**新規** 医療的ケア児保育支援事業
- ・**新規** 特別保育事業補助（障害児保育の保育士加配基準の拡充）

こどもの居場所づくり

- ・**新規** プレーパーク普及促進事業



※ 公開時点での予算要求の内容であり、令和6年度に実施することが確定しているものではありません。

令和6年度子ども家庭局予算要求方針

1 令和6年度子ども家庭局予算要求総括及び方針

(1) 令和6年度子ども家庭局予算要求総括

【一般会計】

令和6年度要求総額	71,307,092千円
(令和5年度予算額	68,720,167千円)
前年度比	+3.8%

【母子父子寡婦福祉資金特別会計】

令和6年度要求総額	160,400千円
(令和5年度予算額	176,700千円)
前年度比	▲9.2%

(2) 令和6年度子ども家庭局予算要求の方針

子ども家庭局では、働く保護者を支援するため、保育所などの送迎や、急な残業や子どもの病気などの際に安心して働ける環境の整備、放課後児童クラブの預かり時間延長などを通して、「稼げるまち」の実現を目指します。

また、良質な生活環境や質の高い学習環境を求める子育て世帯を呼び込むため、データ等に基づいたポジティブな子育て情報の発信やSNSを活用したイメージ戦略を行い、質のよい子育て環境のまちとして都市イメージ向上を推進するとともに、母子保健や保育などにかかる手続きのICT化を進め、DX技術を取り入れた支援を強化し、「彩りあるまち」の実現を目指します。

さらには、子どもを安心して生み育てることができる環境を整備するため、妊娠期から出産、子育て期における伴走型の支援や、障害のあるこどもの保育所での受入体制強化、こどもが安全安心に過ごせる場所や社会性をはぐくむ多様な居場所の拡大などに取り組み、「安らぐまち」の実現を目指します。

こどもまんなか社会の実現に向けて、子ども・子育ての「安心」を支えるため、次の5つの柱に沿って事業を展開する。

○働く親等へのサポート強化

保護者の状況に応じた支援や病児保育のニーズへの対応など、働く親等へのサポートを強化する。

○こどもまんなか city の推進

地域社会、企業など様々な場で、年齢、性別を問わず、全ての人がかどもや子育て中の方々を応援する、社会全体の意識改革を後押しする取組を推進する。

○母子健康支援の強化、DXの推進

こどもを安心して生み育てる環境を整備するため、産前産後を切れ目なく支援するとともに、母子手帳アプリを活用し、子育て分野に係るDXを推進する。

○配慮を要する子どもの支援

障害のあるこどもの受入体制の強化や、保育内容の充実を図るための支援制度の拡充を行う。

○こどもの居場所づくり

こどもたちが幸せな状態で成長していくため、置かれている環境に関わらず、安全安心に過ごせる場所や社会性を生むことができる多様な居場所づくりに取り組む。

2 重点的に取り組みたい主なもの

(1) 「稼げるまち」の実現

～働く親等へのサポート強化～

- ・ **新規** 送迎保育ステーション事業 7, 270千円

保育所等を利用する保護者の送迎の負担軽減のため、保護者に代わり児童の送迎を行う送迎保育ステーションの設置に必要な整備を行う。

- ・ **新規** こども誰でも通園制度(仮称)モデル事業及びシステム導入 25, 089千円

多様な働き方やライフスタイルにかかわらず、すべての子育て家庭に対して支援を強化するため、「こども誰でも通園制度」の本格実施を見据えたモデル事業を実施する。

- ・ **新規** 放課後児童クラブ運営費（早朝加算） 7, 292千円

保護者の出勤時間に対応した受入れを促進するため、長期休暇や土曜日の放課後児童クラブの開所時間について、8時30分より前に開所するクラブに対し、新たに早朝開所加算を創設する。

- ・ **新規** 子育てファミリーサポート事業 13, 278千円

民間企業等の協力による預かり場所の拡充や、送迎活動時のタクシー利用料金の補助を行う。また、事業の利用者及びサービス提供者の支援を強化する。

(2) 「彩りあるまち」の実現

～こどもまんなかcityの推進～

- ・ **新規** こどもまんなかcity推進事業 14, 199千円

社会全体でこどもや子育てを応援する気運を醸成するため、啓発キャンペーンや、情報発信の強化、「(仮称)子ども憲章」の制定等を実施する。

(3) 「安らぐまち」の実現

～母子健康支援の強化～

- ・ **拡充** 妊娠・出産・養育にかかる相談・支援事業
78, 923千円
(うち拡充分 25, 923千円)

妊娠・出産・産後の時期を健やかに過ごし、母子の健康を確保するため、産後ケアの利用者負担の軽減や産婦健康診査等を通じて、出産前後における切れ目ない支援の充実を図る。

- ・ きたきゅうベビー応援事業 595, 352千円

妊娠期から出産、子育てまで一貫して身近で相談に応じ、さまざまなニーズに即した必要な支援につなぐ伴走型相談支援と経済的支援を一体として実施する。

- ・ **拡充** 妊産婦健診等 DX 推進事業 27,417千円
(うち拡充分 4,717千円)

母子健康手帳アプリを活用し、妊娠届出、妊産婦健診、乳幼児健診等の子育てにかかる手続きを ICT 化することで、妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援を実施する。

～配慮を要する子どもの支援～

- ・ **新規** 医療的ケア児保育支援事業 8,650千円

保育所における医療的ケア児の受入体制を整備するため、訪問看護ステーションを活用した医療的ケア児の支援や、看護師の雇用など、受入体制を強化する民間保育所に対して助成を行う。

- ・ **新規** 特別保育事業補助（障害児保育の保育士加配基準の拡充）
19,282千円

近年増加傾向にある特別な配慮を必要とする児童を支援するとともに、障害児保育に従事する保育士の負担軽減を図るため、障害児保育事業補助における保育士配置の加配基準を拡充する。

～こどもの居場所づくり～

- ・ **新規** プレーパーク普及促進事業 4,500千円

子どもの健全育成に資する外遊びの場を市内の各地域に広げるため、中間支援組織と連携して、地域住民等が主体となって開催するプレーパークの活動を支援する。

3 令和6年度予算編成に向けた事務事業の自己点検状況

令和6年度予算編成と同時並行的に取り組んでいる自己点検の内容については、予算案の決定に向け見直しを検討しているところです。

現時点で、見直しの検討を行っている事業の例としては、以下のものがあります。

(1) 視点1：市民のニーズや社会経済情勢の変化への対応

- (例)・認可外保育施設補助事業
 - ・小規模保育事業運営費補助
 - ・事業所内保育事業運営費補助
 - ・ひとり親家庭職業訓練促進資金貸付金交付事業
 - ・ひとり親家庭面会交流支援事業

(2) 視点2：効率性・生産性・費用対効果

- (例)・児童文化施設管理運営費
 - ・家族のためのペアレントトレーニング事業

(3) 視点4：実施水準及び対象範囲の妥当性

- (例)・ひとり親家庭等生活支援事業

(4) その他

- (例)・草刈事業
 - ・保育料徴収業務
 - ・児童健全育成ボランティア（みらい子育てネット）推進事業
 - ・児童扶養手当事務費